

## 株式会社エアーニッポンネットワーク(A-net)の丘珠空港発着路線の新千歳空港への集約化に係る道の対応方針

平成21年5月14日

北海道総合政策部新幹線・交通企画局

今般、全日本空輸株式会社(全日空)から説明のあった「A-netの丘珠空港発着路線の新千歳空港への集約化」については、これが実施された場合には、利用者及び地域にとって次のような影響が懸念される。

### ① 丘珠空港利用者への影響

- ・同空港は、札幌市都心部に近く、多くの道民に利用されているが、新千歳空港への集約化による利便性の低下が懸念されること。

### ② 丘珠空港ターミナルビルの経営悪化など地域経済への影響

- ・道や札幌市などが出資しているターミナルビルの経営が賃料等の減収によって悪化するとともに、利用者の減少による物販やバス交通などの事業への影響が懸念されること。

### ③ 行政運営への影響

- ・国、道及び札幌市は、同空港を道内航空ネットワークの中核として位置づけ、様々な施策を実施してきたが、集約化によりネットワークの維持・充実や空港周辺のまちづくりへの取組みに重大な影響が懸念されること。

### ④ 空港機能の向上に係る投資効果への影響

- ・これまで航空事業者の要望等を踏まえ、国が主体となって空港機能向上のための整備を進めてきており、道も相当の負担を行ってきたところであるが、これらの投資に対する効果が低減することが懸念されること。

さらに、丘珠空港がこれまで新千歳空港との役割分担の下、道内航空ネットワークの中核としての役割を果たしてきたことに鑑み、丘珠空港路線を引き続き維持していくことが望ましいと考えられることなどから、北海道の総意として、

全日空に対して、

- A-netの丘珠空港発着路線の新千歳空港への集約化について再考を求めること
- 再考に当たっては地域と十分な時間をかけて協議を行うこと

また、空港を設置・管理する国に対して、

- 丘珠空港が引き続き道内航空ネットワークの中核としての役割を果たすことができるよう努めること
- 全日空と地域との間で十分な時間をかけて協議がなされるよう全日空に働きかけること

を要請することとする。

なお、要請後についても、札幌市をはじめ関係市町と緊密な連携を図り、地域の意見を随時集約しながら、全日空との協議を進めていく。

〔 担当者 空港活性化推進室参事(航空) 田中  
直通 204-5093 内線 23-801 〕